

外国語指導経費

教育委員会 学務課



1. 事業目的・概要



国際化が進む社会の中で、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することが義務教育段階の外国語教育で重要とされている。その中で、英語教育の充実を図るため、外国語指導助手(ALT)は重要な役割を担っている。

本事業では外国語指導助手(ALT)を配置し、市内小中学校において外国語活動、国際理解教育、英語の授業の支援を行い、児童生徒の英語力の向上と国際理解教育の充実を図る。

1. 事業目的・概要

令和6年度からは、小学校5年生から中学校3年生に該当する児童生徒に対し、聞く、話すに重点をおいた「ICT機器を活用した外国人講師による個別対面式（マンツーマン）英会話授業」を、新たに取り入れ、英語によるコミュニケーションや、基礎となる資質・能力の育成を図るとともに、英語に対する興味・関心を高めグローバル化社会で活躍できる人材を育成する。



2. 現況(実績)

外国語指導助手 (ALT) 配置人数 14人
(1校派遣: 6名 2校兼務: 8名)

・ 1年間の授業時間数として

小学3、4年: 1学級につき年間35時間以上

小学5、6年: // 70時間以上

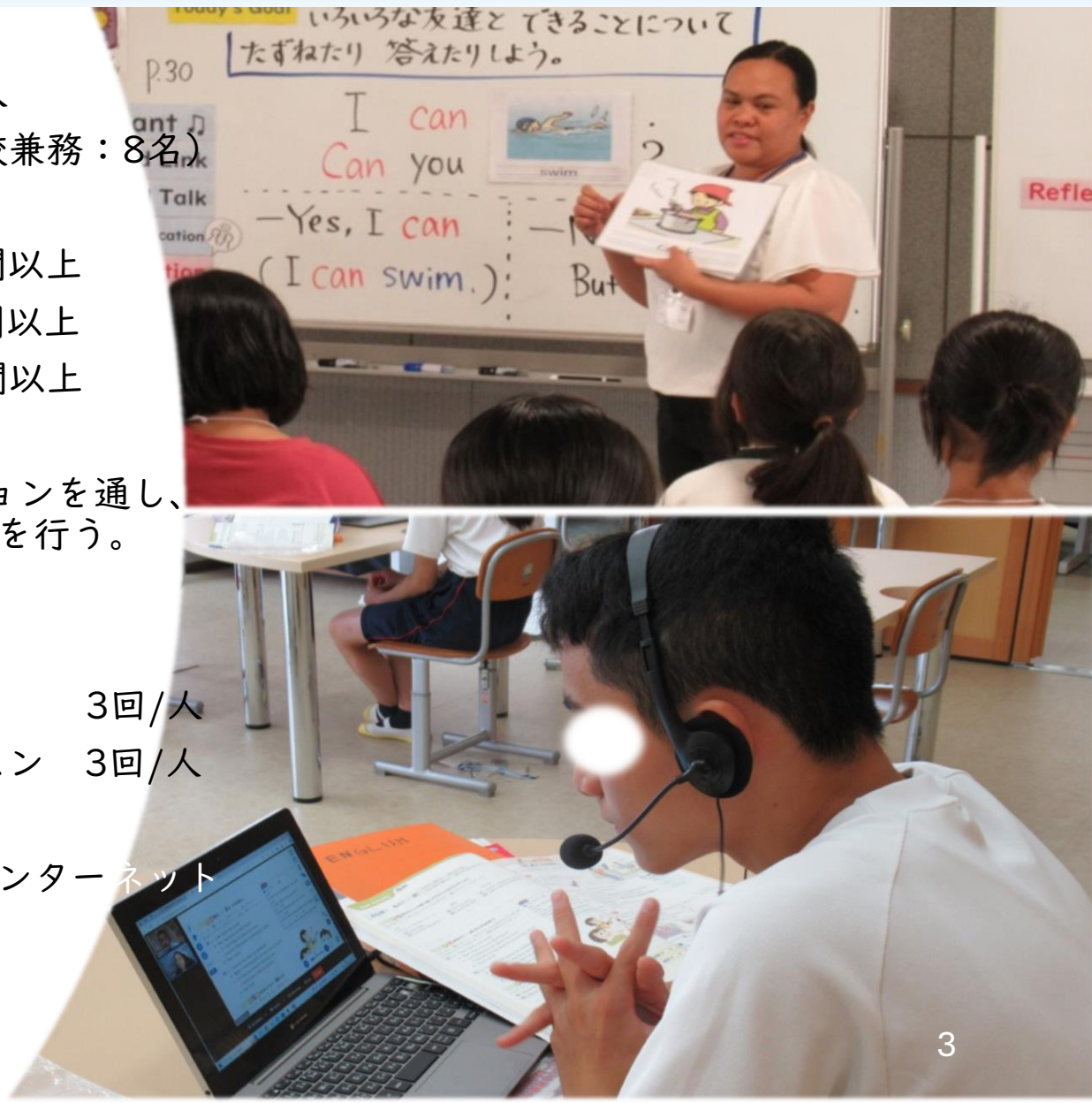
中学全学年: // 35時間以上

外国語科指導の他、英語コミュニケーションを通し、日常的に学校生活での積極的な支援や指導を行う。

〔オンライン英会話〕

- ・ 小学5年、6年生 ペアレッスン 3回/人
- ・ 中学全学年 マンツーマンレッスン 3回/人

各レッスンは、海外居住のトレーナーとインターネットを通し、授業を行う。



3. 結果・成果



〔ALT〕

ALTの英語に触れることで、児童生徒が英語の自然な発音やイントネーションに慣れ親しむことができた。

また、他国の文化や習慣に興味を持ちきっかけとなり、国際理解の向上につながった。

〔オンライン英会話〕

個別での英語体験、ネイティブスピーカーとのやりとりの中で自分の英語が伝わったという達成感を味わい、英語学習に対するモチベーションの向上を図ることができた。

児童生徒が回数を経るごとに、自信をもち、会話力も向上していく姿が見られた。

4. 課題

授業のみではなく、ALTと日常的にコミュニケーションを取ることによって英語に触れる機会を増やしていくことが必要である。

また、ALTの授業は小学3、4年から実施しているので、オンライン英会話も同様に小学3、4年から実施した方が良いのではという意見や、「聞く」、「話す」を本格的に始めるのは中学生からでも良いのではという意見がある中、令和6年度については試行的に小学5、6年から実施することとしたが、実施する学年についても検討が必要である。

※令和7年度のオンライン英会話については、中学生のみを対象として実施している。

5. 今後の方向性

小学校低学年のうちから日常生活において、英語や異国の文化に触れあう機会を増やしていくことにより、英語に対する興味・関心を高め、英語力の向上を図っていく。

そこから、義務教育における目標である英検3級以上にチャレンジし、上級を取得する生徒を増やしていき、グローバルに活躍する人材を育成していく。

〔義務教育における目標〕

中学校卒業時まで、英検3級を取得！

